

【コラム】【月例会】

＜コラム＞文章:協同組合Masters顧問 霜田 稔(Mastersベトナム事業部ホーチミン駐在コーディネーター)

『日本社会の過去と未来』

Masters Vietnamの事業は今の日本では考えられないほどのスピードと規模で、動き出しました。ベトナムの建設会社や設計事務所、韓国の建設会社、日本のレモント設計事務所、企画会社、そして住宅建設に絡む資材調達をお願いする数多くの会社など数十社、我々は開発事業主体であるが故に、多くの企業と仲間の運命共同体の中心に置かれています。そしてまだ詰めていかねばならない魅力的な無視できない重要な案件が提起されつつあります。

この状況は、あの東京オリンピックから大阪万博のころの日本を思い出せば良いのだと思います。私も大学生であった頃、アルバイトで横浜みなと未来計画(MM21)に、大学院生の時代に大阪万博の会場計画や国土計画のような仕事に携わることができました。大手建設業に行った同級生は、卒業した最初の職場が日本超高層の幕開けであった霞ヶ関ビルの建設現場でした。あの時代、行政は未経験なプロジェクトが多く、海外情報が読める大学が頼りでした。大学も手探りでした。大阪の千里ニュータウン、万博会場計画、そして新全国総合開発計画の基本イメージも大学に委託され、大学はまた個別大学の枠を離れて、また学問領域の壁をとばらって、未来をまさに学際的、業際的に討論し、取り組み、その中から日本の現実を踏まえた多くの創造的な考え方が現われてきました。40年を超える年月が経て見ると、地方分権を主張していた杉村敏正、在宅介護を主張していた吉田寿三郎、産業の知的コーディネーションを重視し情報化時代に対応する産業分類を提起した飯野要、ゴミや下水処理など小規模な分散処理を主張していた末石富太郎・藤野良幸、高度情報社会を予想していた坂井利之、脱モーダルセッションを展開していた西山卯三・湯川利和、創造工学を論じていた市川亀久弥、安全工学の確立とトリウム溶融塩炉原発を提起していた石谷清幹はまさに的を得た主張であったと見ることができる。

しかし中には欧米模倣の枠を越えられなかった領域の分野も多かった。例えば交通。河川やマルクス系の国際経済学、政治学はほとんど未来を論じていなかったし、地理学の京大オーソリティは未来を論じることを拒否する姿勢であった。全体としては、欧米模倣を超えて、日本の現実に即しての方向性を出そうという使命感に支えられ、提案は確かに40年を見通していた。しかし、このように真剣に未来を見通すという行為は、真摯に問題を見つめ、夢を描くと同時に、厳しく将来を見据えることを意味する。高度成長という状況の中で、欧米化の光を享受していた政治経済社会は、社会を根底的に眺めることをせず、マルチメディアビジョンや地球環境の危機といった限定された分野やマーケットリサーチの分野に限定して未来を論ずるだけであった。トータルな社会像を提示することなく、大学から、行政からも消えてしまい、結果的にそれぞれの蝸壺に安住してしまっただけではないかと思う。これが日本の未来に対するコンセンサスもできず、現在に至っているように思います。今のベトナムは、欧米追従の未来はありませんし、当然日本追従もなく、中国追従では独自性が発揮できません。従ってベトナムを考えることは、結果的に日本の過去と未来を考えることとなります。その上でベトナムホーチミン市はどうしたら中国の上海、タイのバンコック、マレーシアのクアラルンプール、インドネシアのジャカルタに追いついていけるのだろうかと考えているのではないのでしょうか。そう考えると我々の開発する2区がこれからのホーチミンの将来を決する非常に重要な戦略的開発拠点であると私は想定します。

我々Masters Vietnamは、ベトナムの地でベトナムの将来を睨んだプロジェクトを担います。この将来を見据えた広がりを持って現実的に破綻なくプロジェクトを実施することが、私たちのこれからの基本的営業であると思います。難聴で、現実的実業化には能力不足の私ですので、先々の姿を想像するのが皆さんに役立つ仕事ではないかと思い、日夜勉強に励んでいます。



2区の開発可能地区の分布状況

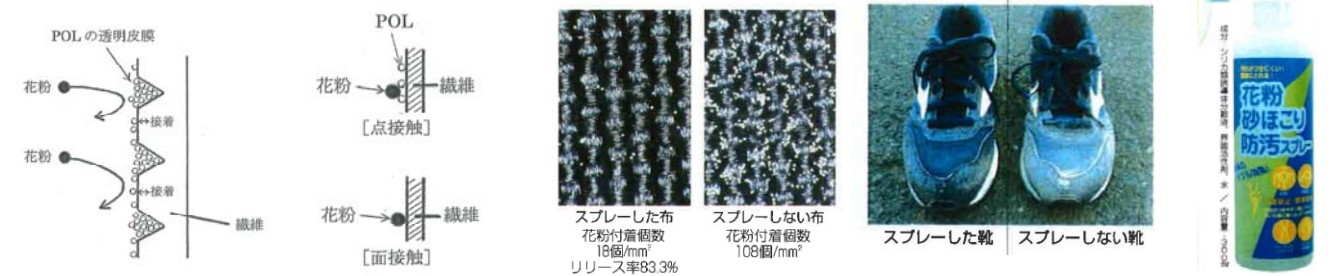
＜月例会発表商材＞ 毎月第3水曜日 3月19日(水)15時～ Masters事務所にて開催

1. 花粉・砂ほこり防汚スプレー (株)ルック 山崎雄也/協同組合Masters 米川友則 (40分)
2. 電磁波対策商品 日本アクアライフ(株) 西川秀司/協同組合Masters 米川友則 (40分)
3. 【Net-One工法】及び【Net-One-FS工法】 (株)富士ネット工業 溝江英樹/協同組合Masters 米川友則 (60分)

- 【凡例】
- ①商品名
 - ②対象者
 - ③従来品との違い
 - ④アピールポイント

1. 花粉・砂ほこり防汚スプレー (株)ルック 山崎雄也/協同組合Masters 米川友則(40分)

- ①花粉・砂ほこり防汚スプレー
- ②花粉症対策。アレルギー対策。粉塵防止。服や靴、布団干し時の汚れ防止。
- ③ナノサイズの微粒子が繊維のすき間を埋め、花粉や黄砂・砂ほこりなどが付着しにくく、また軽くはたきだけで簡単に除去することができます。生地の風合いを損なうこともありません。
- ④『花粉』『砂ほこり』『PM2.5』対策にこれ1本でOK!



2. 電磁波対策商品 日本アクアライフ(株) 西川秀司/協同組合Masters 米川友則(40分)

- ①電磁波対策商品「NTEコスモチップ」「NTEコスモカード」「NTEエコチップ」
- ②電磁波に過敏な方、電磁波が気になるすべての方
- ③電磁波＝電波を吸収し、熱に変換し、放熱するメカニズムを利用
- ④携帯電話、スマートフォン、各種家電機器、またご自身に使用するだけで、電磁波＝電波を減衰させあなたの身体を守ります。また電磁波を吸収することにより、電気の流れに関して省エネになります。



例:チップ裏面のシールをはがし、○の位置に貼る。



3. 【Net-One工法】及び【Net-One-FS工法】 (株)富士ネット工業 溝江英樹/協同組合Masters 米川友則(60分)

- ①【Net-One工法】及び【Net-One-FS工法】
- ②文科省が指定する条件『高さ6m以上で200㎡以上の吊り天井のある建物』若しくは非難場所に指定された学校等の施設
- ③吊り天井の撤去や天幕シートでの落下対策よりも、ネットを設置する事で工期の短縮が出来、安価で施工できる
- ④ネットを設置して天井落下の防止を行う事で、目視で劣化状況が確認できる。またゼネコンも着目しており、特に東日本においては先行して当工事の発注が多数あり、ゼネコンも着目している工法である。現在、弊社が先だって数十件の実績を全国で残しており、今もなお、設計・施工を行っております。



※独自の技術・商材に興味や情報をお持ちの方、コラボレーションにご興味のある方はお気軽にご連絡下さい。
 連絡先: TEL06-6110-8050 E-mail: yonekawa@masters.coop 協同組合Masters 担当: 演出、米川